

**各大学におけるESDへの取り組み状況とユネスコスクール等に対して  
提供可能な支援措置に関するアンケート調査 回答票**

**学校名** 国立大学法人富山大学

ホームページ：http://www.u-toyama.ac.jp/

**担当者**

(職名) 総務部総務グループ 事務職員

(氏名) 谷本 和也

(連絡先) E-mail：[soumuka@adm.u-toyama.ac.jp](mailto:soumuka@adm.u-toyama.ac.jp)

電話/Fax：076-445-6011/076-445-6014

**1. 各機関における既存の活動**

(1) ESDに関連する学内教育活動について、講義名、対象学生の種別等をご記入ください。

番号	講義名	担当教員名	概要
1	環境	遠田 浩司	総合科目，2単位，選択単位，学部2年（人間発達科学部，理学部，工学部）98人
2	環境	小倉 利丸	総合科目，2単位，選択単位，学部2年（経済学部夜間主コース）98人
3	環境	龍 世祥	総合科目，2単位，選択単位，学部1年（人文学部，人間発達科学部，経済学部，理学部，工学部）学部2年（理学部，工学部）81人
4	ジェンダー（性）	佐藤 裕	総合科目，2単位，選択単位，学部2年（人間発達科学部，理学部，工学部）231人
5	ジェンダー（性）	佐藤 裕	総合科目，2単位，選択単位，学部1年（人文学部，人間発達科学部，経済学部，理学部，工学部）学部2年（理学部，工学部）173人
6	技術と社会	米山 嘉治	総合科目，2単位，選択単位，学部2年（人間発達科学部，理学部，工学部），40人
7	技術と社会	曾田 哲夫	総合科目，2単位，選択単位，学部1年（人文学部，人間発達科学部，経済学部，理学部，工学部）学部2年（理学部，工学部）30人
8	技術と社会	田代 発造	総合科目，2単位，選択単位，学部2年（人間発達科学部，理学部，工学部）94人
9	技術と社会	松田 健二	総合科目，2単位，選択単位，学部2年（人文学部，経済学部）95人
10	技術と社会	川口 清司	総合科目，2単位，選択単位，学部1年（人間発達科学部，理学部，工学部）学部2年（人文学部，人間発達科学部，経済学部）75人
11	現代文化	大西 宏治	総合科目，2単位，選択単位，学部2年（経済学部夜間主コース）21人
12	現代文化	大西 宏治	総合科目，2単位，選択単位，学部1，2年（人文学部，人間発達科学部，経済学部，理学部，工学部）140人
13	人権と福祉	立川 健治	総合科目，2単位，選択単位，学部2年（人文学部，経済学部）194人
14	人権と福祉	吉田 俊則	総合科目，2単位，選択単位，学部1年（人文学部，人間発達科学部，理学部，工学部），学部2年（人文学部，人間発達科学部，経済学部）177人

15	人権と福祉	小倉 利丸	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部2年(経済学部夜間主コース) 92人
16	環日本海	森岡 裕	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部2年(人間発達科学部, 理学部, 工学部) 99人
17	環日本海	岩内 秀徳 松井 隆幸	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部1年(人文学部, 人間発達科学部, 経済学部, 理学部, 工学部), 学部2年(理学部, 工学部) 167人
18	科学と社会	水島 俊夫	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部2年(人文学部, 経済学部) 188人
19	科学と社会	波多 宣子	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部1, 2年(人文学部, 人間発達科学部, 経済学部, 理学部, 工学部) 164人
20	現代の世界	高山 龍太郎	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部2年(人文学部, 人間発達科学部, 経済学部, 理学部, 工学部) 85人
21	現代の世界	小倉 利丸	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部1, 2年(経済学部夜間主コース) 30人
22	トータルコミュニケーション	西村 優紀美	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部2年(人文学部, 人間発達科学部, 理学部, 工学部) 45人
23	富山大学学	立川 健治	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部2年(人文学部, 人間発達科学部, 理学部, 医学部, 薬学部, 工学部, 芸術文化科学部) 25人
24	心(こころ), 身体(からだ), そして生命(いのち)	松崎 一平	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部2年(人間発達科学部, 理学部, 工学部) 220人
25	心(こころ), 身体(からだ), そして生命(いのち)	松崎 一平	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部1年(人文学部, 人間発達科学部, 経済学部, 理学部, 工学部), 学部2年(人文学部, 人間発達科学部, 経済学部) 106人
26	職業と人生	松井 隆幸	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部1, 2年(人文学部, 人間発達科学部, 経済学部, 理学部, 工学部) 196人
27	職業と人生	小助川 貞次	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部1, 2年(人文学部, 人間発達科学部, 経済学部, 理学部, 工学部) 270人
28	総合科目特殊講義「東アジアの地域的統合をめぐって」	坂 幸夫	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部1年(人文学部, 経済学部) 58人
29	総合科目特殊講義「万葉学」	坂本 信幸	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部2年(人文学部, 経済学部) 97人
30	総合科目特殊講義「日本海学」	和田 直也	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部1, 2年(人文学部, 人間発達科学部, 経済学部, 理学部, 工学部) 79人
31	総合科目特殊講義「平和学入門」	佐藤 幸男	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部1, 2年(人文学部, 人間発達科学部, 経済学部, 理学部, 工学部) 153人
32	総合科目特殊講義「新聞投稿に挑戦」	橋本 勝	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部1, 2年(人文学部, 人間発達科学部, 経済学部, 理学部, 工学部) 58人
33	日本事情Ⅰ	濱田 美和	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部1年(留学生) 42人
34	日本事情Ⅱ	加藤 扶久美	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部2年(留学生) 35人
35	日本事情Ⅲ	出原 節子	総合科目, 2単位, 選択単位, 学部2年(留学生) 36人(H25より開講なしカリキュラム変更)
36	国際関係論概論	竹村 卓・ 林 夏生	現代の国際社会における諸問題(地域紛争や環境問題、貧困問題等、「持続可能な社会づくり」を進め

			<p>るうえで課題となる多様な問題を含む) について講義をおこなう。また、受講学生が自発的にテーマを選択し、新聞などのニュースメディアと学術的先行研究を活用して簡単なレポートを作成できるよう指導する。</p> <p>認定単位数：2。</p> <p>修了要件への該当：社会文化コースの学生の場合、選択必修科目。なお、外国人に日本語を教える日本語教師を志望する学生にも「履修することが望ましい授業」として紹介している。</p> <p>受講者の種別：主に人文学部の1年生。加えて3年次編入生、日本語教師志望者。</p> <p>受講者数等：約100名。</p>
37	国際関係論実習	竹村 卓・ 林 夏生	<p>受講学生が自発的に選択したテーマに基づき、ESDの「育みたい力」に相当する「調べる力」（調査＝情報収集力）、「考える力」（考察・分析＝体系的な思考力、分析能力、代替案の思考力）、「伝えあう力」（報告・討論＝コミュニケーション能力）を集中的に養成する。</p> <p>認定単位数：1学期あたり1単位。2年間で4単位。</p> <p>修了要件への該当：社会文化コース国際関係論分野の学生の場合、必修。</p> <p>受講者の種別：主に学部2～3年生。</p> <p>受講者数等：約10名。学术交流協定校からの短期留学生や私費外国人留学生を数名含む、多様な国籍・文化的背景を持つ学生が参加している。</p>
38	理科教育法Ⅱ	松本謙一 他	<p>2単位のうち1コマ理科学習におけるESDについて講義、中・高（理）免許取得単位、理学部・人間発達科学部生、70名</p>
39	理科教育論A・B	松本謙一 他	<p>2単位のうち1コマ理科学習におけるESDについて講義、小学校免許取得単位、人間発達科学部生、100名</p>
40	生活科教育論A	松本謙一 他	<p>2単位のうち1コマ生活科学習におけるESDについて講義、小学校免許取得単位、人間発達科学部生、45名</p>
41	基礎ゼミナール	龍 世祥	<p>循環社会の視座で経済について学ぶ。2単位。専門教育科目 必修科目。学部生2，3，4年。5名受講。</p>

42	基礎ゼミナール	垣田 直樹	廃棄物貿易がもたらす環境問題の解決を経済学的に学ぶ。2単位。専門教育科目 必修科目。学部生2, 3, 4年。10名受講。
43	社会政策	両角 良子	社会保障(生活保護、福祉等)について学ぶ。専門教育科目 選択科目。4単位。学部生2, 3, 4年。35名受講。
44	開発経済学	金 奉吉	開発途上国の貧困・不平等問題などの課題を中心に開発経済学について学ぶ。4単位。専門教育科目 選択科目。4単位。学部生2, 3, 4年。76名受講。
45	特殊講義 環境勘定論入門	龍 世祥	データ分析を通じて循環社会の仕組みを学ぶ。2単位。専門教育科目 選択科目。学部生2, 3, 4年。23名受講。
46	農業政策	酒井 富夫	農村の諸問題(所得格差、環境破壊、地域社会の崩壊等)について学ぶ。専門教育科目 選択科目。4単位。学部生2, 3, 4年。38名受講。
47	資源経済学	山本 雅資	環境資源保全のために経済学が果たす役割について学ぶ。2単位。専門教育科目 選択科目。学部生2, 3, 4年。107名受講。
48	環境経済学	龍 世祥	調和型循環社会構築について学ぶ。専門教育科目 選択科目。4単位。学部生2, 3, 4年。35名受講。
49	環境産業論特殊研究	龍 世祥	環境経済・政策論について学ぶ。2単位。専門教育科目 選択科目。大学院生1, 2年。4名受講。
50	環境経済・政策学特殊研究	山本 雅資	経済学をベースに環境問題について学ぶ。2単位。専門教育科目 選択科目。大学院生1, 2年。2名受講。
51	多変量解析演習	中村 真由美	ジェンダーをテーマの一つとし、計量的分析を行う。8単位。専門教育科目 選択科目。大学院生1, 2年。1名受講。
52	科学技術論	盛永 審一郎	技術倫理, 動物倫理, 環境倫理を概説
53	ジェンダー論	谷口 美樹	男性性, 女性性, 自分らしさ, 他者との関係性

(注) 概要欄には、講義のESDとのかかわり、認定単位数、修了要件への該当、受講者の種別、受講者数等を記載する。

**(2) ESD に関連する研究活動について、ご記入ください。**

○竹村 卓（人文学部教授）は「軍隊を持たない国」中米コスタリカとそれを取り巻く国際環境をはじめとして、現在では東アジアを含むさまざまな地域について、安全保障や開発、「人間の安全保障」など多様な観点から検討を重ねている。

○林 夏生（人文学部准教授）は日本と韓国の国際的な相互理解のあり方について、日本ではあまり紹介されることのない韓国の対日国際文化交流政策の変遷過程を中心に調査分析をしている。現在は、マンガやアニメなどのいわゆる「大衆文化（ポップカルチャー）」の国際移動がもたらす文化的多様性や、そのような外来の文化による影響を排除しようとする政策に焦点を置き、中国やイスラム文化圏諸国におけるアメリカ文化への規制等も視野に入れつつある。

○人間発達科学部 松本 謙一 教授 卒論指導 理科教育ゼミ 信松かんな:ESD の考えに立つ理科新教材の開発

—6年理科（総合）「わたしがつくる寒江の自然」の実践から—

○経済学部経済学科 モヴシュク・オレクサンダー 教授

・日本における子どもの貧困に関する実証分析（2013-2015年度 科研費 基盤研究（C））

○経済学部経済学科 中村 真由美 准教授

- ・医療・法曹職女性の研究-職場と家庭における性別分業と階層（2006-2008年度 科研費 基盤研究(C)）
- ・男女医師のワークライフバランスとキャリア形成の研究(2009-2011年度 科研費 基盤研究(C)）
- ・子育て家庭に対する支援施策検討にかかる基礎調査等分析委託（平成24年度受託研究(富山県)）

○経済学部経済学科 両角 良子 准教授

- ・障害者・長期疾病患者・要介護高齢者とその家族の経済分析（2013-2015年度 科研費 若手研究（B））
- ・障害児のいる世帯の経済的負担と金銭的支援に関する実証研究（平成24年度ほくぎん若手研究者助成金）

○経済学部経営法学科 雨宮 洋美 准教授

- ・土地法における法の支配の改善が社会発展に与える影響に関する開発法学的研究（2013-2015年度 科研費 基盤研究（C））

**(3) ESD に関連する地域貢献活動について、ご記入ください。**

① 初等中等教育への ESD 教育支援活動が行われている場合、内容をできるだけ具体的に記述してください。

- 1) 出前授業等の教員・学生による専門的知見の提供について  
対象（高等学校，中学校，小学校，幼稚園・保育園，その他）

○「国際関係論概論」では年1回、「体験授業」の形式で富山県内の高校生40名程度を受け入れ、大学生とともに授業をおこなっている。

○人間発達科学部 松本 謙一 教授 H25,2.12 高岡市立成美小学校職員研修会 『小学校教育におけるESD』

○日本は、世界を代表する科学技術立国であり、電気製品、コンピューター、携帯電話、自動車から医療検査でお世話になる装置まで、誰しもが最先端の工学技術の恩恵に預かっている。しかし一方で、最近の日本の若者の理工離れ、特に工学離れは、日本の将来の発展に大きな影響を及ぼすのではないかと危惧されるまでになっている。この背景には、将来の夢や希望、そして進路を考える時期にある中・高生たちに、工学への関心をいざなう教育や経験が十分に行われていないからでないかと考えられ、実際に中学、高校の教育現場から工学部教員への講義や演示実験の依頼や相談も多い。

富山大学工学部では、このような工学部教員の日ごろの想いと近くの小・中学・高校教諭の声を出発点として、5年前から“将来、日本の工学を担ってくれる若者を育てる基盤づくり”を目指し、実際の往来も行い易い、地域内のごく近くの小・中学校の主として理科担当教諭と本学工学部教員とが連携して、生徒の自然や理科に対する勉学意欲を高め、さらに工学への関心を持ってもらうことを目的として、出前授業などの教育取り組みを続けている。

(平成20年度実施)

富山市立西部中学校、人間発達科学部附属中学校、高岡市立定塚小学校の理科担当教諭および校長先生、教頭先生方と事前相談を持ち、事業目的と生徒のためにどのような講義が望ましいかを相談し、各学校での授業に対応して、より関心を持たせるデモ講義を行った。必要経費は、応募し採択された学長裁量支援経費で賄った。

① 7/8 西部中学「酵素を使ったバイオセンサって聞いたことありますか？」

篠原教授、3年選択理科(50分)3年生11名、理科教諭2名、校長、教頭

② 11/25 西部中学「身近な微生物」

星野准教授、3年選択理科(50分)3年生11名、理科教諭

③ 12/16 西部中学「役に立つ微生物(食品を中心に)」

星野准教授、3年選択理科(50分)3年生11名、理科教諭

④ 1/19(H21) 附属中学「食塩の結晶模型を作ってみよう！」

佐伯准教授、1年選択理科(50分)1年生26名、理科教諭、校長

⑤ 2/17(H21) 定塚小学校 「視覚のふしぎ」

堀田教授、石井准教授、柴田助手、科学クラブ(45分)4~6年生21名、理科教諭2名、教頭

地域高校とも面会相談はしたものの連携には時間がなかった。一方で小学校でも大学との連携工学教育への強い関心、要望があることがわかった。小中、いずれの生徒たちにもデモ講義では大きな関心を持ってもらうことができ、西部中、附属中、定塚小の教諭、校長から次年度も本連携教育をぜひ継続して欲しいという要望を頂いた。

(平成 21 年度実施)

学部長裁量経費支援を受けて、富山市立西部中学校での出前授業を行った。

① 12月7日2限 「鍛冶屋に挑戦、釘ナイフを作ってみよう！」

佐伯 淳 准教授、3年理科(50分) 3年2組 32名

② 12月14日2限及び3限 「レーザーで遊ぼう！」

升方勝己 教授、3年理科(50分) 3年3組 32名、3年5組 32名

③ 12月14日5限及び12月16日2限 「サッカーロボットを作ってみよう！」

笹木 亮 講師、3年理科(50分) 3年4組 32名、3年1組 32名

H21 年度も中学校では、大学との連携工学教育への強い関心、要望があることがわかった。生徒たちに出前授業で工学への大きな関心を持ってもらうことができ、理科担当教諭、校長から今後も本連携教育をぜひ継続して欲しいという要望を頂いた。

(平成 22 年度実施)

学部長裁量経費支援を受けて、富山市立西部中学校での出前授業を行った。

① 佐伯 淳 教授 「鍛冶屋に挑戦、釘ナイフを作ってみよう！」

11月22日3限 3年理科(50分) 3年2組 32名

11月22日4限 3年理科(50分) 3年1組 33名

50分の制約はあったものの、まず鉄(炭素鋼)の種類と、応用・実用例、構造と鍛造、熱処理の手法について概説した。その後生徒自ら五寸釘を手にとってもらい、一連の加熱、鍛造、熱処理、仕上げ処理を体験してもらった。特に赤く熱した鉄をたたいて好きな形に変形できることには大いに興味を示していた。本出前授業で工学への大きな関心を持ってもらうことができ、生徒達から「楽しかった」や「またやりたい」などの感想が寄せられた。さらに理科担当教諭、校長からも本連携教育を今後ともぜひ継続して欲しいという要望を頂いた。

② 升方 勝己 教授 「レーザーで遊ぼう」

11月24日2限 3年理科(50分) 3年4組

11月24日3限 3年理科(50分) 3年3組

光の性質を理解させることを目的に、以下の簡単な実験・講義を実施した。

i. [光の回折実験] 緑、赤のレーザーポインターを用い、回折格子を通した時に光の曲がり方が異なることを示す実験を行い、回折格子で光を波長ごとに分けることが出来ることを理解させた。

ii. [分光器による光の観測] 「CDを回折格子として使用した分光器(当研究室の学生による手作り)を生徒全員に配布し、太陽光、蛍光灯、ナトリウムランプ、水銀灯の発光スペクトルを観測、光が波であること、色の違いが波長の違いであることを、光源によってスペクトルが異なることを体感させた。

iii. [偏光] 2枚の偏光板の角度を変えると光が通ったり通らなかつたりすること、液晶画面上に偏光板を置くと角度によって明るさが変わることを実験で示し、液晶ディスプレイが偏光を利用して画面表示していることや光が横波であることを理解させた。

西部中より送って頂いた受講生徒の感想文では、液晶ディスプレイや蛍光灯、CDなど身近な機器を題材にしたため生徒は興味を持ってくれたようであった。

(平成 23 年度実施)

学部長裁量経費支援を受けて、富山市立西部中学校での出前授業を行った。

3月5日(月)50分授業 升方勝己先生 レーザーで遊ぼう！

2時限目(9時40分～10時30分) 3年2組

3時限目(10時40分～11時30分) 3年3組

(\* 升方先生は出前授業にも本当に良くご貢献くださいました。感謝です。)

3月6日(火)45分授業 笹木 亮先生 サッカーロボットを作ってみよう！

2時限目(9時35分～10時20分) 3年4組

3時限目(10時30分～11時15分) 3年1組

(平成 24 年度実施)

学部長裁量経費支援を受けて、富山市立西部中学校での出前授業を行った。

平成 25 年 2 月 8 日(金) 10:40～11:30 と 11:40～12:30 2クラス

3年生理科 担当：工学部准教授 星野一宏

講義題目：身の回りの微生物・役に立つ微生物（食品を中心に）

2月12日(火) 10:40～11:30 と 11:40～12:30 2クラス

3年生理科 担当：工学部教授 篠原寛明

講義題目：酵素パワーの秘密（生活の場で活躍する酵素）

受講生徒数は、1クラス36名

平成 24年度 出前講義等実施状況

No.	学部	職名	派遣教員名	依頼機関名	実施期日	受講対象者
1	工学部	教授	砂田 聡	岐阜県立武義高等学校	5月31日(木)	2年生 (38名)
2	工学部	講師	参沢 匡将	福井県立羽水高等学校	7月5日(木)	2年生 (15名)
3	工学部	教授	西村 克彦	富山県立滑川高等学校	7月5日(木)	1～3年生 (23名)
4	工学部	教授	遠田 浩志	富山県立石動高等学校	7月12日(木)	1～3年生 (20名)
5	工学部	准教授	黒澤 信幸	富山県立南砺福野高等学校	7月13日(金)	1～3年生 (40名)
6	工学部	教授	前澤 宏一	富山県立南砺福光高等学校	7月28日(木)	3年生 (25名)
7	工学部	教授	高辻 則夫	富山県立福岡高等学校	7月30日(月)	3年生 (28名)
8	工学部	准教授	星野 一宏	新潟県立六日町高等学校	11月9日(金)	2年生 (40名)
9	工学部	教授	中島 一樹	岐阜県立大垣東高等学校	11月21日(水)	2年生 (53名)
10	工学部	教授	中嶋 芳雄	富山県立水橋高等学校	12月8日(木)	2年生 (38名)
11	工学部	教授	西村 克彦	富山県立富山いずみ高等学校	12月11日(火)	2年生 (30名)
12	工学部	教授	中島 一樹	富山県立八尾高等学校	12月14日(金)	1, 2年生 (40名)
13	工学部	教授	前澤 宏一	富山県立呉羽高等学校	3月7日(木)	2年生 (28名)

- 2) 小中学校等の学校と共同で学生が実施する活動について  
(例：街路のゴミ拾い等)

なし

- 3) ESD 推進に資する教材開発について

開発された教材：

○人間発達科学部 松本 謙一 教授 卒論指導 理科教育ゼミ 信松かんな:ESD の考えに立つ理科新教材の開発

—6年理科(総合)「わたしがつくる寒江の自然」の実践から—

- 4) ESD を選択できるような社会人向け(大学院)コースについて  
ある場合、内容をできるだけ具体的に記述してください。

なし

- 5) ESD を対象とする教員免許状更新講習科目について

なし

- ② ESD 分野でのその他の地域貢献活動について  
(例：公民館や博物館との連携活動等)

○NGO の活動に協力する形で、インドネシア・南タンゲラン市(ジャカルタ近郊)の貧困地区の環境改善・教育改善を目的としたプロジェクトを実施している(平成23~25年度)。また、そのプロジェクトの一環として、対象地域の小学校で活用してもらう環境教育教材、および教師用指導書の開発に取り組んでいる(平成25年度完成予定)。

## 2. 上記(1.)以外で今後、各機関が提供できる ESD 分野のサービス

- ・専門的知見の提供・教員への助言(例えば防災教育、国際理解教育等)
- ・出前授業
- ・教材の提供
- ・(〇〇分野の)カリキュラムの共同開発 等

上記のようなサービスを提供されている場合、具体的に記述してください。

○人間発達科学部 松本 謙一 教授(生活科・理科・総合学習における ESD)

### 3. 各機関における ESD の持続性を支援するための体制

- ・例えば教員研修 (FD) ,職員研修 (SD) を活用した学内における ESD の周知方策

なし

### 4. ESD 分野での他大学との連携

なし

### 5. その他の関連活動

○平成 21 年度日本/ユネスコ・パートナーシップ 事業「ASPUnivNet によるユネスコ・スクール支援事業」

⇒世界の貧困地域の子供達に読み書きや計算などの教育の場を提供するため、書き損じはがき収集による募金活動、国際理解教育推進のための図書購入、教員研修 (他のユネスコスクール加盟校の取り組みについて) を行った。(人間発達科学部附属中学校 横山 毅)

○ESD に関連した各種団体の委員・役員等に教員を派遣

平成 24 年度兼業実績

教員氏名	派遣先	職名
高山 龍太郎	特定非営利活動法人 子どもの権利支援センターぱれっと	副理事長
森嶋 秀紀	特定非営利活動法人 とやま成年後見人協会	コンプライアンス外部委員